

令和3年度

事業報告書

社会福祉法人 釧路愛育協会

法 人 本 部

総 括

新型コロナ変異ウイルスの出現により感染拡大防止対策を継続したことで、役員会、監査をはじめあらゆる事業等で感染対策を余儀なくされてきた。このような状況下においても法人として将来あるべき姿を長期ビジョンとして展開してきた中期計画（平成 29 年度～令和 3 年度）の最終年度の事業を意欲的に進め、各分野の福祉事業の充実を確かなものとする年度となった。

法人総括として重点項目の実施状況では、（１）法人施設整備計画の策定において、北海道、釧路市、独立行政法人福祉医療機構および特定共同企業体、工事管理者等の協力のものと、「養護老人ホーム長生園移転改築」ならびに「特別養護老人ホーム武佐の里新設」計画を遂行した結果、無事に竣工を迎え落成記念式典を挙行し関係機関、地域住民へ感謝と今後の抱負を伝え新たな一步を踏み出すことになった。また、「あいこう認定こども園老朽改築に向けた施設整備計画」の検討では釧路市の協力により仮設建物を確保し、現在の敷地での改築をめざし令和 6 年度中の竣工に向けたスケジュールを打ち出し準備を進めている。

（２）法人の人材確保・育成のためのシステムの実施では、各種福祉資格取得等の職員助成事業の利用が 8 件と徐々に定着しているため、人材育成に向けたキャリアアップにつながるように継続していく。

（３）法人の人材育成等研修システムの実施では各施設・事業所でオンラインによる研修が確保され、新任職員研修、幹部職員研修、職員研修、専門研修の 4 本柱を計画どおりに実施し、施設間の特徴や情報を網羅した内容の充実が図られた。

（４）地域公益活動の促進では、「釧路愛育協会総合相談室」による福祉サービス利用援助事業を継続し、新たな地域支援の対象者のニーズに応えることができている。また、コロナ禍におけるクラスター（集団感染）発生時や社会福祉施設における自然災害対策として災害時における法人・施設協働の連携方法や職員派遣などについて協議を進め、災害等の発生時には北海道社会福祉協議会や各法人間と連携を図る体制を維持してきた。

（５）新型コロナウイルス感染症拡大防止対策では、新しい生活様式と感染症対策の徹底とワクチン接種を継続し、法人から全職員へ感染予防の再徹底と感染流行に留意し利用者さん、乳幼児に寄り添う福祉活動ができるように訴えることで、さまざまな制限を受けながらも福祉施設職員としての自覚につながりクラスターの発生を抑えることができた。

令和 3 年度法人の大きな目標であった「養護老人ホーム長生園の移転改築」ならびに「特別養護老人ホーム武佐の里新設」が達成されたことは、釧路愛育協会にとってさらに地域から多くの期待を担い新たな福祉の歴史を切り開いていくことである。この先を見据えた法人の新たな中期計画（令和 4 年度～令和 8 年度）を構築しつなげていく上で大切なことは、利用者さん、乳幼児のニーズに向き合い、職員それぞれが持つ人間性と知識と技術を活かした専門的な視点で創意工夫を凝らし新たな取り組みや考え方を見出し実践していくことである。その実践を始める新たな決意を抱く年度となった。

1. 業務計画の実施状況

事業計画	実施状況
<p>1) 定時評議員会</p> <p>第1回 令和3年6月17日(木) 令和2年度事業報告、決算の認定、その他の案件</p> <p>第2回 令和3年10月28日(木) 令和3年度補正予算及びその他の案件</p> <p>第3回 令和4年3月24日(木) 令和4年度事業計画及び予算並びにその他の案件</p>	<p>(1) 評議員会</p> <p>第1回 令和3年6月17日 同意者 7名(書面表決)</p> <p>報告事項1 長生園移転改築及び武佐の里新設計画進捗に関する件</p> <p>報告事項2 令和3年度社会福祉施設等整備事業費補助金内示に関する件</p> <p>議案第1号 令和3年度社会福祉施設等整備事業費補助金の交付申請について</p> <p>議案第2号 令和3年度 釧路市老人福祉施設整備協力費の交付申請について</p> <p>議案第3号 諸規程の一部改正について</p> <p>議案第4号 令和2年度補正予算(第5次)の認定について</p> <p>議案第5号 令和2年度事業報告について</p> <p>議案第6号 令和2年度決算の認定について</p> <p>報告事項3 令和2年度決算監査報告</p> <p>議案第7号 令和3年度補正予算(第1次)の認定について</p> <p>議案第8号 任期満了に伴う役員を選出について</p> <p>第2回 令和3年10月28日 参加者 6名</p> <p>報告事項1 長生園移転改築および武佐の里新設計画進捗に関する件</p> <p>報告事項2 法人監査に関する件</p> <p>議案第1号 諸規程の一部改正について</p> <p>議案第2号 令和3年度補正予算(第2次)の認定について</p> <p>議案第3号 社会福祉法人釧路愛育協会 養護老人ホーム長生園移転改築および特別養護老人ホーム武佐の里新設に伴う備品等入札結果および契約手続きについて</p>

事業計画	実施状況
	<p>第3回 令和4年1月27日 同意者 7名（書面表決）</p> <p>報告事項1 長生園移転改築および武佐の里新設計画進捗に関する件</p> <p>報告事項2 「あいこう認定こども園」改築計画基本構想に関する件</p> <p>議案第1号 諸規程の一部改正および制定について</p> <p>議案第2号 令和3年度予算の認定について</p> <p>議案第3号 令和3年度補正予算（第3次）の認定について</p> <p>議案第4号 特別養護老人ホーム武佐の里等認可申請および指定申請について</p> <p>議案第5号 人事案件</p> <p>第4回 令和4年3月24日 同意者 7名（書面表決）</p> <p>報告事項1 長生園移転改築および特別養護老人ホーム武佐の里新設計画進捗に関する件</p> <p>議案第1号 定款変更認可申請ならびに定款変更届について</p> <p>議案第2号 諸規程の一部改正および制定について</p> <p>議案第3号 令和3年度補正予算（第4次）の認定について</p> <p>議案第4号 令和4年度事業計画ならびに予算の認定について</p> <p>議案第5号 あいこう認定こども園改築計画基本設計業者の選定について</p>
<p>2) 定時理事会</p> <p>第1回 令和3年6月2日（水） 令和2年度事業報告、決算の認定、その他の案件</p> <p>第2回 令和3年10月20日（水） 令和3年度補正予算及びその他の案件</p> <p>第3回 令和4年3月16日（水）</p>	<p>(1) 理事会</p> <p>第1回 令和3年6月2日（書面表決） 同意者6名 確認者2名</p> <p>報告事項1 長生園移転改築及び武佐の里新設計画進捗に関する件</p> <p>報告事項2 令和3年度社会福祉施設等整備事業費補助金内示に関する件</p> <p>議案第1号 令和3年度社会福祉施設等整備事業費補助</p>

事業計画	実施状況
<p>令和4年度事業計画及び 予算並びにその他の案件</p>	<p>金の交付申請について 議案第2号 令和3年度 釧路市老人福祉施設整備協力 費の交付申請について 議案第3号 諸規程の一部改正について 議案第4号 令和2年度補正予算(第5次)の認定につい て 議案第5号 令和2年度事業報告について 議案第6号 令和2年度決算の認定について 報告事項3 令和2年度決算監査報告 議案第7号 令和3年度補正予算(第1次)の認定につい て 議案第8号 評議員選任・解任委員の選出および委員会 開催日について 議案第9号 評議員候補者の推薦について 議案第10号 第3者委員の選出について</p> <p>第2回 令和3年6月21日(書面表決) 同意者6名 確認者2名 報告事項1 役員および評議員の選任に関する件 議案第1号 理事長および常務理事の選任について 議案第2号 評議員候補者の推薦について 議案第3号 評議員選任・解任委員会の開催日について</p> <p>第3回 令和3年9月27日(書面表決) 同意者6名 確認者2名 報告事項1 長生園移転改築および武佐の里新設計画進 捗に関する件 議案第1号 令和3年度介護施設等開設準備経費等支援 事業補助金交付申請について 議案第2号 釧路愛育協会養護老人ホーム長生園移転改 築および特別養護老人ホーム武佐の里新設に係る備品 の一般競争入札について</p> <p>第4回 令和3年10月20日 参加者8名</p>

事業計画	実施状況
	<p>報告事項1 長生園移転改築および武佐の里新設計画進捗に関する件</p> <p>報告事項2 法人監査に関する件</p> <p>議案第1号 諸規程の一部改正について</p> <p>議案第2号 令和3年度補正予算(第2次)の認定について</p> <p>議案第3号 社会福祉法人釧路愛育協会 養護老人ホーム長生園移転改築および特別養護老人ホーム武佐の里新設に伴う備品等入札結果および契約手続きについて</p> <p>第5回 令和4年1月19日</p> <p style="text-align: right;">参加者7名</p> <p>報告事項1 長生園移転改築および武佐の里新設計画進捗に関する件</p> <p>報告事項2 「あいこう認定こども園」改築計画基本構想に関する件</p> <p>議案第1号 諸規程の一部改正および制定について</p> <p>議案第2号 令和3年度予算の認定について</p> <p>議案第3号 令和3年度補正予算(第3次)の認定について</p> <p>議案第4号 特別養護老人ホーム武佐の里等認可申請および指定申請について</p> <p>議案第5号 人事案件</p> <p>第6回 令和4年3月16日(書面表決)</p> <p style="text-align: right;">同意者6名 確認者2名</p> <p>報告事項1 長生園移転改築および特別養護老人ホーム武佐の里新設計画進捗に関する件</p> <p>議案第1号 定款変更認可申請ならびに定款変更届について</p> <p>議案第2号 諸規程の一部改正および制定について</p> <p>議案第3号 令和3年度補正予算(第4次)の認定について</p> <p>議案第4号 令和4年度事業計画ならびに予算の認定について</p>

事業計画	実施状況
	議案第5号 あいこう認定こども園改築計画基本設計業者の選定について
3) 評議員選任・解任委員会 第1回 令和3年6月17日(木) 新評議員の選任	(1) 評議員選任・解任委員会 第1回 令和3年6月17日(書面表決) 同意者3名 議案第1号 新評議員の選任
4) 定例監査 第1回 令和3年5月24日(月) 令和2年度決算および運営の執行状況 第2回 令和3年7月26日(月) 令和3年度第1四半期会計および運営の執行状況 第3回 令和3年10月25日(月) 令和3年度第2四半期会計および運営の執行状況 第4回 令和4年1月24日(月) 令和3年度第3四半期会計および運営の執行状況 第5回 令和4年3月28日(月) 令和3年度第4四半期会計および運営の執行状況	(1) 監査 第1回 令和3年5月24日 出席者 2名 令和2年度決算および運営の監査 第2回 令和3年7月26日 出席者 2名 令和3年度 第1・四半期 法人および施設の運営状況監査 第3回 令和3年10月25日 出席者 1名 令和3年度 第2・四半期 法人および施設の運営状況監査 第4回 新型コロナウイルス感染症流行により中止 第5回 新型コロナウイルス感染症流行により中止
5) 永年勤続職員表彰	(1) 永年勤続職員の表彰 実施 令和3年12月27日 勤続年数 30年 1名 20年 1名 10年 2名
6) 役員研修会	(1) 役員研修会 ①令和3年度 全国知的障害関係施設長等会議 日時 令和3年10月6日～7日 会場 オンライン開催 (YouTube ライブ配信) 参加 理事1名

事業計画	実施状況
7) 法人研修会	<p>(1) 法人研修会</p> <p>第1回 新任職員研修会 令和3年9月14日(火) 「釧路愛育協会の軌跡・法人職員としての心構え」 参加者9名</p> <p>第2回 幹部職員研修会 令和3年10月19日(火) 「未来を担う管理職は?～認められた人たちと学ぶ～」 参加者13名</p> <p>第3回 専門研修会 令和3年11月9日(火) 「家族支援の在り方を学ぶ」 参加者11名</p> <p>第4回 職員研修会 令和3年12月7日(火) 「権利擁護と意思決定支援の考え方」 参加者13名</p>

釧路愛育協会 総合相談室

令和3年度における事業運営は、福祉サービス利用援助事業を中心とした事業展開となった。しかし、コロナ禍のため、広報活動などが思うようにできなかった。

次年度はホームページを活用した広報活動を展開していきたい。

1. 業務計画の実施状況

事業計画	実施状況
1) 福祉総合相談窓口としての広報活動や事業展開を図る	(1) コロナ禍により活動が制限されてしまったが、今後は法人ホームページなどを活用した広報活動を進めていきたい。
2) 福祉サービスの利用援助、日常の金銭管理等、地域支援の実施	(1) 自立生活支援専門員と生活支援員による、地域支援の実践ができた。 (2) 判断能力が著しく低下した利用者さんを成年後見制度につなぐことができた。

長 生 園

令和3年度における事業運営は、事業計画に基づき経済上・環境上の理由により地域で暮らすことが困難になったかたがたや特定要援護高齢者（精神疾患を持つ方や矯正施設を退所する方など）に対応した入所支援を、各関係機関と連携し多角的に実施することができた。多角的に支援することで一人の対象者に対し、さまざまな角度と視点から生活課題を検討し、本人にとってのより良い生活の実現をめざすという、チームアプローチが令和3年度においても実現することができた。これにより、養護老人ホームの役割のひとつである「ラストセーフティーネット」の実践がなされたと考えている。

また、そのようなかたがたのニーズや課題を個別に対応するための個室化や小グループで暮らせる施設も完成することができた。

新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、さまざまな活動が制限されてきたが、施設内での新たな余暇活動や、感染拡大防止対策をした行事の実施など、職員全員でできることの模索を続けたことが、結果的に利用者さんの生活を潤すことができたと考えている。

ICT（情報通信技術）の導入では、計画通り介護支援記録システムや情報共有アプリケーションをスマートフォン端末で活用し、情報の一元化やタイムリーな情報共有などを実践することができた。

そういった状況の中、令和3年度事業計画重点項目の（1）に掲げた「身体的・精神的健康の増進を目的とした余暇活動の実施」にあっては、利用者さんの状態にあった福祉用具を活用し健康の増進を目的とした余暇活動を実践することができた。

（2）の重点項目である「利用者の身体機能的側面、精神心理的側面、社会環境的側面を総合的に維持、向上を図り QOL（quality of life：生活の質）を高めていく」にあっては、毎日の健康体操、ラジオ体操、コロナ禍でもできる企画やオンライン面会により実践できた。

（3）の重点項目である「ボランティア活動を通して、施設と地域社会をつなぐことを目指していく」にあっては、施設のボランティアニーズの確認により、今後のボランティア依頼についての方針を立てることができた。

（4）の重点項目である「病気の早期発見と健康管理、指導に努める」にあっては、必要とされる医療行為や緊急時の対応、感染症予防のための啓発活動などを適切に実施することができた。

（5）「利用者の心身の状態等を反映した食事の提供と栄養や衛生の知識普及に努める」にあっては、必要な情報を周知するポスターの掲示や資料の配布により知識普及に努めることができた。

（6）「長生園改築工事の竣工に向け準備を進める」にあっては、施設の備品や設備の選定発注、竣工に向け各種補助金の申請や借り入れの手続きが進み、備品や設備の納品、

設置を円滑に進めることができた。計画通り、3月19日竣工し引き渡しを受けることができた。

(7)「自然災害や感染症流行に備え、新しい施設に合わせたBCP（事業継続計画）の策定準備を進める」にあつては、BCPのフォーマット準備、新しい勤務体系の決定、備蓄品の選定などを実施することで、新たな施設に合わせたBCPを次年度作成することとなる。

次年度からは、入所施設が二つに分かれ、新たな職員が増えることで、今とは全く違うメンバーでの新年度スタートになるため、新たなチームづくりが必要となってくる。

職員一人ひとりが力をつなげ合うチームアプローチの実践により、チーム力をさらに向上させ、魅力ある施設づくり、職場づくりにチーム一丸となってチャレンジし続けていきたい。

1. 業務計画の実施状況

事業計画	実施状況
1) 身体的・精神的健康の増進を目的とした余暇活動の実施	<p>(1) 利用者さんの状態に合った福祉用具を職種間で検討し、使用していただき、自立支援につなぐことができた。</p> <p>(2) 日々利用者さんとのコミュニケーションを図り、不安や悩みなどを引き出し担当生活相談員と連携を図りながら、他者との関係性などの修復を図り、孤立感や不安の解消に努めた。</p> <p>(3) 利用者さん個々のニーズを担当生活相談員とともに利用者さん本人と相談しながら自己決定を促し、その人らしい生活を送れるよう努めた。</p>
2) 利用者の身体機能的側面、精神心理的側面、社会環境的側面を総合的に維持、向上を図りQOLを高めていく	<p>(1) クラブ活動などをおとした身体機能の維持、向上は、コロナ禍によるクラブの中止で取り組めなかったが、毎日のラジオ体操、健康体操で実施することができた。</p> <p>(2) 行事などをおとした、精神心理の維持、向上は、コロナ禍でも工夫した企画によって実施することができた。また、新たな生活様式に合わせた行事や活動を新たに加え、意欲向上による精神心理状態の維持や向上に努めることができた。</p>
3) ボランティア活動を通して、施設と地域社会	<p>(1) 職員へのアンケート調査により、施設のボランティアニーズを確認することができ、今後のボランティア</p>

事業計画	実施状況	
をつなぐことを目指していく	依頼についての方針を立てることができた。	
4) 病気の早期発見と健康管理、指導に努める	<p>(1) 健康な方への月に1度のバイタル測定が実施できない時があったが、急変時の対応や日々の受診対応は迅速に行うことができた。</p> <p>(2) 多職種との連携や、感染症対策委員会との情報共有により、手探りながらも、コロナウイルス感染防止に努めることができた。</p> <p>(3) 職員の健康相談や病院受診等の必要性また、病気や感染症への指導など、個々の相談に応じ対応できていた。</p>	
5) 利用者の心身の状態等を反映した食事の提供と栄養や衛生の知識普及に努める	<p>(1) 食事摂取基準に基づいた食事を提供することができた。</p> <p>(2) 必要な情報を周知するためにポスターの掲示や資料の配布を実施してきた。今後は、情報の発信方法、媒体の内容を工夫し利用者さんの健康につながるように努めていきたい。</p> <p>(3) 継続した嗜好調査の実施から、利用者さんからの率直な意見・要望を知ることができた。また、今後の取り組みに必要な食習慣の傾向も知ることができ、栄養に関する知識の普及に役立てていきたい。</p>	
6) 長生園改築工事の竣工に向け準備を進める	<p>(1) 施設の備品や設備の選定発注、竣工に向け各種補助金の申請や借り入れの手続きが進み、備品や設備の納品、設置を円滑に進めることができた。</p> <p>(2) 計画通り、3月19日竣工し引き渡しを受けることができた。</p>	
7) クラブ活動	活動・実施年月日・回数など	参加人数 (名)
	(1) リズムサークル コロナ禍のため自粛 (2) 楽々工房 延 20回 (3) ゲートボール同好会 // 14 // (4) サプライズの日 コロナ禍のため自粛	180 96
8) 健康教室	(1) コロナ禍のため、自粛	

事業計画	実施状況			
9) 栄養教室	(1) コロナ禍のため、栄養に関するポスターを2回掲示			
10) 機能訓練	(1) 体操 毎日 (2) ハッピーレク コロナ禍のため自粛			
11) 余暇活動	(1) 外出レク コロナ禍のため自粛 (2) カラオケ コロナ禍のため自粛 (3) ミュージックタイムの日 22回			
12) 自己評価	(1) 福祉サービス第三者評価 高齢者福祉サービス版自己評価シートに基づき常勤職員が実施			
13) 職員研修 (外部研修)	月	日	研修名	参加人数 (名)
	5	31	全国老協 養護老人ホーム職員研修取組結果報告会	1
	3	5	北海道社会福祉士会 実践研究集会(全道大会)	1
	3	8	釧根地区老人福祉施設協議会 総合研修	3
14) 職員研修 (施設内研修) 研修テーマ 『チーム力の 向上をめざす』	月	日	研修名	参加人数 (名)
	7	12	防犯マニュアルに沿った訓練、意見交換 防犯対策委員会	10
	7	13 20 27	チーム力の向上を目指す 研修委員会	9 12 13
	8	4	事故報告書の作成意味の振り返り・振興局報告について 事故対策委員会	17
	8	24	引っ越し大作戦 研修委員会	14

	10	27	アンガーマネジメント 虐待防止委員会	14
	10	29	えっ？これってどうなの？ 「ドキュメント 精神科病院× コロナ」を鑑賞して 身体拘束廃止委員会	20
	12	17	災害時に役立つ知識 災害対策委員会	9
	1	18	苦情のケースから考える、迅速・ 適切・臨機応変な対応 苦情処理委員会	9
	2	14	新型コロナウイルス感染症発生 シミュレーション 机上訓練 感染症対策委員会	14
	3	11	身体拘束の基本を再確認 身体拘束廃止委員会	18
15) 救命救急講習	月	日	研修名	参加人数 (名)
	8	9	普通救命救急講習	3
	11	8	普通救命救急講習 (更新再講習)	9
	11	12	普通救命救急講習 (更新再講習)	7
	11	16	普通救命救急講習 (更新再講習)	7
16) 短期宿泊事業	在宅高齢者の短期宿泊 (1) 利用人員 延 4名 延日数 56日			
17) 健康診断・衛生管理	健康診断・衛生管理 (1) 健康診断 令和3年4月～令和3年12月 令和3年7月～令和3年8月 (2) 体重測定 令和3年7月11月3日 (3) 赤痢菌等検査 月 1回 (4) ノロウイルス検査 10月～ 3月			

2. 行事計画の実施状況

月	実施状況および参加人数			
4	1) 映画会	中止	2) 誕生会	21日 141名
5	1) 誕生会	19日	137名	

6	1) 映画会 3) 野外食	中止 29日	16名	2) 誕生会	16日	138名
7	1) 野外食 3) 野外食	8日 27日	16名 19名	2) 誕生会 4) 野外レク	21日 中止	141名
8	1) 野外食 3) 盆踊り 5) クッキングレク	3日 20日 28日	18名 67名 44名	2) 誕生会 4) 物故者供養	18日 20日	135名 名 11名
9	1) 誕生会 2) 長生園祭	15日 20日	135名 136名	2) かしわ認定こども園交流会	中止	
10	1) 開園記念日 3) 誕生会	2日 20日	136名 136名	2) 収穫祭 4) 誕生会	12日 21日	136名 132名
11	1) 誕生会	17日	137名	2) 演芸会	11日	60名
12	1) 誕生会 3) お年取り	15日 30日	139名 140名	2) クリスマス会	24日	141名
1	1) 新年恒例会	1日	140名	2) 誕生会	19日	142名
2	1) 誕生会	16日	143名			
3	1) 節句会 3) 誕生会	3日 18日	105名 136名	2) クッキングレク	4日	8名

3. 介護サービス提供基盤整備補助事業

1) 道補助事業

事業名：令和3年度介護サービス提供基盤整備事業補助金（開設準備経費補助）
内 容：事務備品、施設家具、福祉用具、医療機器、電化製品等
財 源：事業活動による収入（道補助金）長生園 100,058,000 円
（道補助金）武佐の里 49,358,000 円
（自己資金） 1,335 円
合 計 149,417,335 円

4. 施設整備補助事業

1) 道補助事業

事業名：令和3年度老人福祉施設等整備事業
内 容：長生園移転改築および武佐の里新設工事費用
財 源：事業活動による収入（道補助金）長生園 380,520,000 円
（道補助金）武佐の里 150,577,000 円
合 計 531,097,000 円

2) 釧路市補助事業

事業名：令和3年度老人福祉施設整備協力費補助事業
内 容：長生園移転改築および武佐の里新設工事費用
財 源：事業活動による収入（市補助金）長生園 2,125,662,000 円
（市補助金）武佐の里 1,171,533,000 円
合 計 3,297,195,000 円

5. その他

1) 交流会	コロナ禍により自粛
2) ボランティア	コロナ禍により自粛
3) 寄 贈	5件 評価額 45,950 円
	物品名 紙おむつ、カット布、汚れ落とし、老眼鏡、タオル

令和3年度 入 退 園 状 況 (名)

定員 160

月	入園数	退園数	死亡数	当月末人数
4	1	1	2	151
5	2	0	2	151
6	0	0	1	150
7	1	0	1	150
8	0	0	2	148
9	0	0	2	146
10	2	1	0	147
11	4	0	1	150
12	1	1	1	149
1	1	1	0	149
2	0	0	0	149
3	1	1	1	148
合計	13	5	13	

長生園訪問介護事業所

長生園特定施設における訪問介護サービスの提供は、利用者さんの心身の状況や特性を踏まえ、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、心がけながら

実践するよう努めた。

なかでも重点項目の（１）にかかげた「訪問介護員の意識や技術を成長させることを目的とした研修の参加・実施」については、定期的にヘルパー研修を実施し訪問介護員の資質向上を図った。

（２）の重点項目である「訪問介護サービスの質の向上」については、利用者さん一人ひとりのニーズに沿った介護サービス計画を把握し、安全かつ快適なサービスを提供できるよう努めた。

1. 業務計画の実施状況

事業計画	実施状況
1) 訪問介護員の意識や技術を成長させることを目的とした研修の参加・実施	(1) サービス提供責任者が訪問介護員と介護職員の間に入り情報の共有をし、利用者さんへのサービスが円滑に行えるように努めた。 (2) 新型コロナ対策として、定期的に注意喚起し、感染症に対する対応を徹底して行った。
2) 訪問介護サービスの質の向上	(1) 利用者さん一人ひとりのニーズに沿った介護サービス計画を把握し、安全かつ快適なサービスを提供した。

2. 研修の実施状況

研修内容	実施日	参加人数（名）
訪問介護の接遇、マナー	令和3年4月30日	10

武 佐 い こ い

令和3年度は、新型コロナウイルスの流行により、事業縮小での運営や増員を目的とした居宅介護事業所への積極的な宣伝活動もほとんど行えず、利用人員の減員がみられた。さらに、7月頃より利用者さんの入院や施設入所などの影響もあったが、現在は利用人員も回復してきている。

新型コロナウイルスの感染予防対策として、利用者さんに随時、手洗い・うがい・マスクの着用の促しや、事業所内の換気や消毒、空間除菌脱臭機や飛沫防止パーテーションを導入し感染予防に努めた。

サービスについては、利用者さん主体のサービスを念頭に少人数制を活かし、利用者さん個々へ寄り添い、生活機能の低下防止に重点を置いたサービス提供により、役割・自信・

意欲・楽しみの回復に努めた。

職員教育については、新型コロナウイルスの流行により外部研修には参加することができなかったが、職場内研修、会議や個人面談などとおして、専門職としての資質向上および地域の多様なニーズに柔軟に対応するためのチームケアの確立に努めた。

地域との関わりについても、新型コロナウイルス感染予防対策としてフロアーの一般開放や地域交流カフェいこい会館、ボランティアの受け入れは中止している。

第1回、第2回の運営推進会議についても、感染予防対策により書面での会議で行っている。

1. 業務計画の実施状況

事業計画	実施状況
1) 利用者さんの個々のニーズに沿った（介護予防）通所介護計画の実施	(1) 居宅介護支援員と連携し、その人らしい、その人が望んでいる生活に少しでも近づけるよう通所介護計画の作成に努めた。
2) 小規模事業所ならではの特色を生かし、個々の利用者さんに寄り添う生活機能の維持向上に重点をおいたサービスの提供	(1) 利用者さんに寄り添い、ニーズを基に個々に日常生活内で、役割・自信・意欲・楽しみの回復を図り、利用者さんの QOL の向上に繋げるサービス提供に努めた。
3) 専門職としての資質向上を目的とした職員研修の定期実施および積極的な外部研修への参加	(1) 利用者さんおよびご家族とのより良い関係づくりと、安心安全で良質なサービス提供へ繋げるための接遇や知識などの職員研修は行っているが、研修計画に沿って行う事ができなかった。 (2) 外部研修については、新型コロナウイルスの流行により参加できていない。
4) 地域とのより密接な関係づくりを目的とした地域公益事業の充実化	(1) 新型コロナウイルスの流行により、デイサービスフロアー地域一般開放や地域カフェ「いこい会館」の開催が実施できておらず、地域との関係づくりが難しかった。

2. 行事計画の実施状況

月	実施状況および参加人数
4	1) 春の体力測定・体力増進週間 13～17日 計35名
5	1) 新型コロナウイルス感染予防にて中止

月	実施状況および参加人数		
6	1) 園芸レク (プランター作成)	3日	9名
7	1) オープンカフェ	20~22日	計 34名
8	1) 調理レクリエーション	13~14日	計 24名
9	1) 敬老炉端	10日	12名
	2) 自主避難訓練	30日	10名
10	1) 開所記念を祝う会	1日	11名
	2) 令和3年度第1回運営推進開催 (書面会議)	23日	5名
11	1) 秋の体力測定・体力増進週間	16~20日	計 36名
12	1) クリスマス会	25日	12名
	2) 忘年会	28日	12名
1	1) 新春お楽しみ週間	4~8日	計 34名
2	1) 節分	3日	12名
3	1) 節句会	4日	14名
	2) 令和3年度第2回運営推進開催 (書面会議)	15日	5名

3. 令和3年度月別利用延数、一日平均利用人員および稼働率

月別	利用延人数 (名)	一日平均 利用人員 (名)	稼働率
4	199	9.9	66.3%
5	158	8.7	56.2%
6	240	10.9	72.7%
7	242	11.5	76.8%
8	237	11.8	79.0%
9	239	11.9	79.6%
10	281	12.7	85.1%
11	248	13.0	87.0%
12	272	12.3	82.4%
1	229	12.0	80.3%
2	218	12.1	80.7%
3	267	11.6	77.3%
合計	2,830	年平均 11.5	76.9%

4. 令和3年度地域公益事業実績

1) デイサービスフロア地域一般開放

月別	利用者	利用回数	延べ人数(名)
4	ふまねっと946様	中止	0
5	ふまねっと946様	中止	0
6	ふまねっと946様	中止	0
7	ふまねっと946様	中止	0
8	ふまねっと946様	中止	0
9	ふまねっと946様	中止	0
10	ふまねっと946様	中止	0
11	ふまねっと946様	中止	0
12	ふまねっと946様	中止	0
1	ふまねっと946様	中止	0
2	ふまねっと946様	中止	0
3	ふまねっと946様	中止	0

2) いこい会館

月	内 容	参加人数(名)
5	中止	0
7	中止	0
9	中止	0
11	中止	0
1	中止	0
3	中止	0

ひかり自立支援センター

令和3年度も昨年に引き続き、法人の理念と方針に基づき利用者さんの人権を守り安心、安全に配慮した質の高いサービスを提供した。しかしながら、前年度から続くコロナ禍の影響により「ひかりの里まつり」「ふれあい広場」「施設交流ボウリング大会」などが中止され、また各種行事、イベントなども開催されず売上は減少したが、釧路市より委託を受け実施している高齢者宅への配食サービスおよび施設外就労の清掃作業により安定した収入を確保することができた。

日中支援の生活介護「あい工房」では、職員の介助による手指消毒の感染症対策と

換気、消毒を含めた衛生管理の徹底を図りながら、それぞれの障がいに合わせて入浴、排せつ、食事などの基本的な生活習慣の支援、かいわれ栽培作業などによる生産活動の提供、身体機能維持を目指して体に負担の少ない運動や散歩、またコロナ禍のため公共施設を利用したプール支援や生産物の販売、余暇活動などができなかったため、ストレスがたまらないように利用者さん個々に合わせた支援の充実を図った。

日中支援の就労継続支援B型「みのり工房」では、同じく感染症対策と衛生管理の徹底を図りながら、引き続き「長生園」「鉏望やすらぎの郷」の清掃業務を行うとともに、椎茸栽培、畑やハウスを活用した農作物生産、どら焼き、クッキーの菓子製造、弁当の販売、さらに地域における公益的な取組みの地域貢献事業として鉏路市から委託を受けている高齢者宅への配食サービスについても安否確認に重点をおきながら継続した。

今後ひかり自立支援センターが地域の中で核となる通所施設の役割を担い、近い将来の高齢化対策についても展望しながら、利用さんが豊かな生活を実感し楽しい人生が送れるよう取り組んでいきたい。

1. 業務計画の実施状況

事業計画	実施状況
1) 日中支援の生活介護「あい工房」では利用者さんの基本的な生活習慣、生産活動、身体機能の維持、余暇活動などの充実を図る	(1) 利用者さん個々の障がいに合わせて食事、入浴、排せつなどの基本的な生活習慣の支援、かいわれ栽培などによる生産活動の提供。 (2) 身体機能維持を目指した運動や散歩、またコロナ禍のため余暇活動などが自粛されたため、ストレスがたまらないように利用者さん個々に合わせた支援の充実を図った。
2) 日中支援の就労継続支援B型「みのり工房」では利用者さんの施設外就労と野菜、椎茸栽培、菓子製造販売および配食サービスの充実を図る	(1) 感染症対策として手指消毒およびマスクの着用、工房の衛生管理の徹底を図りながら、日中支援の就労継続支援B型「みのり工房」では、施設外就労「長生園」「鉏望やすらぎの郷」の清掃業務を継続するとともに、椎茸栽培、農作物生産、どら焼き、クッキーの菓子製造、パンフレットの配布やFAXでの注文販売、さらに地域における公益的な取組みの地域貢献事業として鉏路市から委託を受けている高齢者宅への配食サービスについても継続した。

事業計画	実施状況
3) 職員の資質向上のための研修体制の充実を図る	(1) 職員の資質向上のため、各種研修会へ参加した。 ① サービス管理責任者更新研修 10月6日 2名 ② 日中支援部会全国大会秋田大会 10月15日 1名 ③ 法人専門職員研修(本部)11月9日 2名 ④ 北海道地域生活定着支援会議 12月3日 1名 (北海道地域生活定着支援センター) ⑤ 法人職員研修(本部)12月7日 2名
4) 敷地内や建物の安全、衛生、美観の向上を図る	(1) 室内外の清潔、衛生管理、積雪、寒冷の安全対策、危険個所の改修、廃棄物処理などによる美観の向上を図った。

(2) 行事計画の実施状況

月	全 体	あ い 工 房	み の り 工 房
4	1) 保護者会 中止 2) 利用者懇談会 中止	1) 市立病院販売 中止	1) 長生園出店 中止
5	1) 前期健康診断17日~21日 10名 2) 利用者懇談会 中止	1) 理容 中止	1) 金星ハイヤー出店 中止
6	1) 利用者懇談会 中止 2) 保護者会 中止	1) プール支援 中止	1) ふれあい広場 中止
7	1) 利用者懇談会 中止	1) 益浦夏祭り販売 中止	1) 釧望やすらぎの郷夏まつり 中止
8	1) 保護者会 中止 2) 利用者懇談会 中止	1) 施設交流ボウリング大会 中止	1) 釧路養護学校ひまわりのつどい 中止
9	1) 利用者懇談会 中止	1) 鶴が丘学園祭見学 中止	1) コア大空まつり 中止
10	1) 保護者会 中止 2) 利用者懇談会 中止	1) 施設交流シューズバレー大会 中止	1) スマイルワンダーランド出店 中止
11	1) 後期健康診断インフルエンザ 15日~19日 10名 2) 利用者懇談会 中止	1) 市立病院販売 中止	1) 中央病院販売 中止
12	1) 保護者会 14日 8名 2) 利用者懇談会 23日 22名 3) 釧路芸術館クリスマスコンサート 中止	1) クリスマス会 23日 11名	1) クリスマス会 23日 5名
1	1) 利用者懇談会 中止	1) 初詣 中止	1) イオン出店 中止

2	1) 保護者会 中止 2) 利用者懇談会 中止	1) 節分豆まき 3日 11名	1) 節分豆まき 3日 5名
3	1) 利用者懇談会 中止	1) ひまわりチャレンジ 中止	1) 慰労会 中止
備考	クリスマス会、節分豆まきは各工房で実施 イベント、販売、行事については、新型コロナウイルス流行により中止		

3. その他

1) 交流	セイコーマート（クリスマス交流・ケーキ、プレゼント贈呈のみ）		
2) 寄贈	1件	評価額	18,000 円
	物品名：	ジュース・ケーキ など	

令和3年度 入退所状況

(名)
定員 33

月	生活介護あい工房（11）			就労継続支援B型みのり工房（22）		
	入所	退所	当月末人数	入所	退所	当月末人数
4	0	0	10	0	0	23
5	0	0	10	0	0	23
6	0	0	10	0	0	23
7	0	0	10	0	0	23
8	0	0	10	0	0	23
9	0	0	10	0	0	23
10	0	0	10	0	0	23
11	0	0	10	0	0	23
12	0	0	10	0	0	23
1	1	0	11	0	0	23
2	1	0	12	0	1	22
3	0	0	12	0	0	22
計	2	0		0	1	

共同生活援助 ひかりの里・ホームはばたき

令和3年度も昨年に引き続き、法人の理念と方針に基づき利用者さんの人権を守り安心、安全に配慮した質の高いサービスを提供し、利用者さん、保護者ならびに

地域のかたがたから信頼が得られるよう取り組みを進めた。また今年度もコロナ禍の影響により「ひかりの里まつり」や釧路市内の各種行事、イベント、お祭りなどの中止、外出の自粛などを余儀なくされたが、利用者さんのストレス軽減を図るため、感染対策に重点を置きホーム内でできる誕生会やクリスマス会などを実施し、支援の充実を図った。

ひかりの里「ホームひかり」においては昨年度、現在のひかりの里ホームひかり(介護サービス包括型)を(日中サービス支援型)に移行したのに伴い、重度障がいのある常時介護が必要な利用者さんに対してさらに充実した支援の提供ができた。さらに利用者さんの食事、入浴、排せつなど、基本的な生活習慣の支援の充実を図りながら、健康管理および感染症対策に重点を置いて取り組んだ。

また、ひかりの里「ホームはばたき」では、「ホームひかり」が日中サービス支援型に移行したのに伴い、新たに共同生活援助事業所「ホームはばたき」として介護サービス包括型の指定を受けた。またコロナ感染症対策として、マスクの着用、手指の消毒など、自主的に取り組めるよう支援し、ホーム内で出来る手芸、貼り絵、映画鑑賞などを行い、情緒の安定を図りながら楽しく生活できるよう支援した。

今後「ひかりの里」(ホームひかり)、ホームはばたきがコロナ感染症対策も視野に入れながら、利用者さん、家族が地域の中で豊かな生活を実感し楽しい人生が送れるよう取り組んでいきたい。

1. 業務計画の実施状況

事業計画	実施状況
1) ひかりの里ホームひかりを日中サービス支援型に移行するとともに、ホームはばたきを新たに共同生活援助事業所(介護サービス包括型)としての指定を受ける	(1) ひかりの里ホームひかりを日中サービス支援型に移行したのに伴い、新たにホームはばたきを共同生活援助事業所(介護サービス包括型)として令和3年4月1日指定を受けた。
2) 地域支援の共同生活援助「ひかりの里」(ホームひかり)利用者さんへの基本的な生活習慣の支援および健康管理、地域資源を活用した余暇活動を実施し情緒の安定を図る	(1) 地域支援の共同生活援助「ホームひかり」では、生活の場として利用者さんの食事、入浴、排せつなど基本的な生活習慣の支援および健康管理、感染症対策に重点を置いて取り組んだ。コロナ禍により買い物、外食などの外出支援や行事や祭りなどへの参加、日帰り、一泊旅行などの余暇活動は十分にできなかったが、ホーム内でできる余暇活動の充実を図った。

事業計画	実施状況
3) 地域支援の共同生活援助「ひかりの里」(ホームはばたき)利用者さんが積極的に地域との交流を図りながら地域に溶け込み、楽しく生活できるよう支援の充実を図る	(1) 地域支援の共同生活援助「ホームはばたき」では、コロナ禍により町内会のお祭りや行事、買い物、コンサート鑑賞、日帰り・宿泊旅行は実施できなかったが、ホーム内でできる、手芸、貼り絵、映画鑑賞などを行い、情緒の安定を図りながら楽しく生活できるよう支援した。
4) 短期入所事業を実施し、地域貢献活動の促進を図る	(1) 短期入所利用者 利用者さん1名、延べ14日間利用。
5) 職員の資質向上のための研修体制の充実を図る	(1) 職員の資質向上のため、各種研修会へ参加した。 ①法人専門職員研修(本部)11月9日 2名 ②北海道地域生活定着支援会議12月3日 1名 (北海道地域生活定着支援センター) ③法人職員研修(本部)12月7日 2名 ④全道施設長研修(道知協)2月10日 1名 ⑤令和3年度報告研修 3月23日 15名
6) 敷地内や建物の安全、衛生、美観の向上を図る	敷地内の衛生管理、美観の向上のため排水溝の清掃整備および草刈りなどを実施した。

2. 行事計画の実施状況

月	全 体	ホームひかり	ホームはばたき
4	1) 保護者会 中止 2) 利用者懇談会 中止		1) 誕生会 23日 5名
5	1) 前期健康診断17日~21日 15名 2) 利用者懇談会 中止	1) 外出支援 中止	2) 茅野公園まつり参加 中止
6	1) 利用者懇談会 中止 2) 保護者会 中止	1) 誕生会 30日 10名	1) 道東みどり会 中止
7	1) 利用者懇談会 中止	1) 誕生会 26日 10名 2) 釧路霧フェスティバル見学 中止	1) 厳島神社まつり参加 中止
8	1) 保護者会 中止 2) 利用者懇談会 中止	1) くしろ港まつり見学 中止	1) 花火大会見学 中止
9	1) 花火、焼き肉 中止 2) 利用者懇談会 中止	1) 誕生会 30日 10名 2) 花火、焼き肉 中止	1) 誕生会 30日 5名 2) 焼き肉 中止

月	全 体	ホームひかり	ホームはばたき
10	1) 保護者会 中止 2) 利用者懇談会 中止		1) 宿泊旅行 中止
11	1) 後期健康診断、インフルエンザ 15日~19日 15名 2) 利用者懇談会 中止	1) 誕生会 30日 10名	1) いきいきサロン(町内会)参加 中止
12	1) 保護者会 14日 8名 2) 利用者懇談会 中止	1) クリスマス会 23日 10名	1) クリスマス会 25日 5名
1	1) 利用者懇談会 中止	1) 初詣中止	1) 新年会中止
2	1) 保護者会ほか 中止 2) 利用者懇談会 中止	1) 節分豆まき 3日 10名	1) 道東みどり会参加 1日 2名 2) 節分豆まき 3日 5名
3	1) 利用者懇談会 中止	1) ひなまつり 4日 10名 2) 誕生会 31日 10名	1) ひなまつり 4日 5名
備考	<p>保護者会については12月14日のみ実施。保護者には隔月発行の「ひかりの里だより」で情報を発信した。</p> <p>誕生会、焼肉、クリスマス会、節分豆まき、ひなまつりは各ホームで実施</p> <p>外出、その他行事、イベント、旅行などについては、新型コロナウイルス流行により中止</p>		

3. その他

1) 寄 贈	6件	評価額 29,300 円
	物品名： 菓子・果物・ジュース・ケーキなど	

令和3年度 入 退 居 状 況

(名)
定員 15

月	ホームひかり (10)			ホームはばたき (5)		
	入 居	退 居	当月末人数	入 居	退 居	当月末人数
4	0	0	9	0	0	5
5	0	0	9	0	0	5
6	0	0	9	0	0	5
7	0	0	9	0	0	5
8	0	0	9	0	0	5
9	0	0	9	0	0	5
10	0	0	9	0	0	5
11	0	0	9	0	0	5
12	0	0	9	0	0	5

1	1	0	10	0	0	5
2	0	0	10	0	0	5
3	0	0	10	0	0	5
計	1	0		0	0	

鶴が丘学園

新型コロナウイルス感染症対策では釧路市や地域の医療機関の協力のもと、ワクチン接種（3回目）や全職員のPCR検査などを積極的に行い、新型コロナウイルス感染の拡大防止に努めてきた。新たな変異ウイルスが出現したことで断続的ではあったが、楽しみにしていた居宅(週末帰省)や冬期休暇帰省も条件付きで1年ぶりに行うことができた。

重点項目の『開設50周年記念事業』は1年遅れとなったが『開設50周年記念式典』および『50周年記念誌』を発刊し、式典はコロナ禍のため利用者さんと職員、家族会代表の参加により実施したことで利用者さん中心のゆったりとした式典となった。記念誌はフルカラーで写真を中心とした構成で50年の歴史を振り返るものとなり、関係各位に記念品とともに送付し祝うことができた。

利用者さんの人権尊重と個別支援計画については意思決定を尊重した支援について施設内外で研修を重ね職員の意識の向上を図ることで、はっきり意思を表示できる利用者さんも増え以前より意思を丁寧にくみ取る機会が増えてきて、サービス管理責任者を中心にくみ取った意思を個別支援計画に反映させるように取り組むことができた。今後においては意思を上手に表示できない利用者さんの意思決定について、根拠や客観的なエビデンス（証拠に基づいた説得力のある説明）を大切にして個別支援の充実を図る。

日中活動（生活介護）の充実ではどんぐり工房から中庭に出られるテラスを整備し、パラソルや椅子を置き日光浴や余暇活動、カフェのような雰囲気できつろぎ水分補給などを行い健康維持と余暇の充実を図った。また、菓子製造ではアイスクリーム購入を定期的に行うよう支援室に冷凍庫を設置し、利用者さんがいつでも購入できるような方法を取り売り上げにもつなげることができた。コロナ禍で利用者さんが楽しみにしていた行事も減るなか、園庭での焼肉パーティーやラーメンフェスタ、居酒屋さくらの他に『収穫祭』として模擬店を単独で行い利用者さんの楽しみとともに日中活動での生産性を維持することができた。

医療面では総合的な健康診断の実施とともに、嘱託医や協力医(口腔ケア)との連携を進めることができた。中でも地域医療（訪問医療）との連携をはかり最高齢の利用者さんに対する充実したターミナルケアに向けた看取り支援をすることができた。

安全対策の充実ではBCP(事業継続計画)の中に新型コロナウイルス感染症対策を整備し、予期せぬ自然災害や火災に備えるとともに、毎月実施する防災訓練を通して利用者さん、職員へ

周知徹底を図り、非常災害時に対応できる体制が確保できてきている。

職員の確保と定着・育成に向けた課題には、管理職員を中心としたチームアプローチでの相互作用による負担感の軽減につなげる取り組みを継続しており、そのことが魅力ある職場づくり・仲間づくりにつながることを求められる。さらに施設内外の研修内容の充実と働きやすく魅力のある職場づくりを図っていくことで、利用者虐待が起こらない職場環境とストレングス視点（欠点よりも強さや良いところに着目したアセスメントの視点）を基本とした支援環境を育む文化を構築していきたい。

今後も、釧路市や関係機関との連携を深めながら地域のニーズに応えるため、相談支援はじめ短期入所事業の推進と福祉避難場所としての施設開放など、地域生活支援拠点の役割を担い地域貢献にも力を注いでいく。

1. 業務計画の実施状況

事業計画	実施状況
1) 「開設 50 周年記念」祝賀会開催と記念誌を発刊し、利用者さん、家族、役員・職員で記念行事を挙げる	(1) 開設 50 周年記念式典は新型コロナウイルス感染予防対策のため、利用者さんを中心として職員と家族会代表のみで式典を挙げる。 (2) 開設 50 周年記念事業として『50 周年記念誌』の発刊と記念品をご家族、法人ならびに関係各位に送付した。
2) 利用者さんの人権尊重と安心・安全を定着させるため「新しい生活様式」を取り入れながら、ゆとりのある生活と充実した食生活や健康管理に重点を置き、質の高い福祉サービスを提供する	(1) 虐待防止に関する取り組み ① 虐待防止委員会の開催 3 回 ② 身体拘束検討委員会の開催 14 回 ③ 虐待等に関する研修会の実施 8 回 (2) 新型コロナウイルス感染予防対策 ① 『新型コロナウイルス感染症の対応』を見直し、すぐに対応ができるように、備品・消耗品を充実させた。また職員が感染症の対象となった時の体制についてシミュレーションを行った。 ② ワクチン接種～利用者さん、職員 3 回接種 ③ PCR 検査の実施、抗原検査キットの配布～職員 (3) 食生活の取組み ① 感染防止対策として集団飲食を控え各棟デイル

	<p>ームで食事</p> <p>②行事食、おたのしみ食の実施～バイキング形式をとらずに盛り付けをしてリクエストメニューを楽しむ</p> <p>③個別的な食形態の対応～利用者さんの嚥下状態により4形態の対応</p> <p>(4) 健康管理の取り組み</p> <p>①歯科往診：月5～6回不定期（訪問歯科）</p> <p>②皮膚科往診：年4回</p> <p>③訪問診療：毎月（対象利用者4名）</p> <p>④健康診断：年2回(11月・3月)</p> <p>内科聴打診、胸部レントゲン検査、心電図、血液、尿検査（肺、胃、大腸がん検診は個別のニーズに対応）</p> <p>⑤身体測定（健康診断時以外にも適宜実施）</p> <p>⑥インフルエンザ予防接種：年1回</p> <p>(5) 障がい者用介護ロボットの導入</p> <p>①移乗ロボット「スカイリフト」の導入</p> <p>②「眠りスキャン」の導入～女性棟8名対象</p>
<p>3) 利用者さんの意思や一人ひとりの個性と特性を尊重した個別支援計画の取り組みを実践するため、楽しく張りのある生活を目指した余暇、外出、体力維持の活動を実施する</p>	<p>(1) 利用者さんの障がい特性や個性に合わせた個別支援計画の実施</p> <p>〔目標達成ケース数〕</p> <p>ひだまり 14 ケース</p> <p>こもれび 30 ケース</p> <p>せせらぎ 20 ケース</p> <p>(2) コロナ禍で外出、外食は制限していたが、空いている時間帯を利用しての外出やドライブスルーなど、適切な感染症対策を行いながら余暇活動を行った。</p> <p>(3) 焼肉パーティー、ラーメンフェスタや居酒屋等の行事も利用者さんの要望を取り入れ実施した。</p>

<p>4) 利用者さんの障がい特性、高齢化等に対応するため、支援内容や介護技術等の充実に取り組み、医療及び関係機関との連携を強化していく</p>	<p>(1) 強度行動障がい支援者養成研修プログラムに沿って支援を行った。特に処遇困難な6ケースについて経過報告を作成し、支援会議で職員間の情報共有を図った。</p> <p>(2) 地域医療との連携によりターミナルケアの利用者さんの看取り支援の取組みを行った。</p>
<p>5) 日中活動(生活介護)の充実を図るため、毎朝の散歩など健康と運動機能の維持、余暇・創作活動内容や生産性の質向上に努めていく</p>	<p>(1) 日中活動の場を共有し園内での活動も取り入れながら、参加することに重点を置いたクラブ活動や余暇活動を行った。</p> <p>(2) 個別的に朝の散歩を実施、また日中活動などでも運動を積極的に取り入れた。</p> <p>(3) 収穫祭やクラブ活動などの行事で販売を行ったり、菓子だけではなくアイスクリームも園内販売を行うことで生産性を維持した。</p> <p>(4) どんぐり工房から中庭へ出るスペースは、日光浴や足湯、カフェなど利用者さんが楽しめる活動を行うスペースとなった。</p>
<p>6) サービスの質向上や安全対策の充実を図るため、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策をBCP(事業継続計画)に取り入れ充実させるとともに、定期的に防災訓練を実施する</p>	<p>(1) ヒヤリハットの報告件数：28件 事故報告の件数：11件</p> <p>①ヒヤリハットの報告件数はまだ足りていないところもあり大きな事故防止のためにもヒヤリハット事例から対策を強化する。</p> <p>(2) 福祉サービス共通評価による自己点検 年1回実施</p> <p>(3) BCPの見直し・作成</p> <p>①新型コロナウイルス感染症の対応を含めたBCPの見直しを行い、非常災害時にどの職員でも対応できるよう職員に周知した。</p> <p>(4) 火災時や自然災害時の避難訓練の実施</p> <p>①火災避難訓練～毎月(夜間・日中想定)</p> <p>②風水害避難訓練～3回(非常電源作動訓練含む)</p>

<p>7) 職員確保と定着を図り人材育成に重点を置くため、園内研修の充実を図るとともに、園外のオンライン研修等に積極的に参加・受講できる設備を整備し、魅力ある施設づくりを実践する</p>	<p>(1) 職員募集（生活支援員、調理員）の実施</p> <p>①年間を通して職員募集は行っているが、人材確保につながっていないことが多かった。調理員に関しては急募だったため折込チラシで募集を行うと問い合わせも多く成果が見られた。</p> <p>ホームページに掲載 釧路新聞社広告紙ライフに掲載 2回 北海道新聞広告欄掲載 1回(2週掲載) 北海道新聞・釧路新聞折込チラシ 2回</p> <p>②職員の人材育成は急務であるため、年間の職員研修計画に基づき、キャリアアップや各種資格取得等について積極的に進めた。</p> <p>(2) 施設内の研修</p> <p>実施回数 10回 参加人員 延 212名 (新型コロナウイルス感染症対策により5・7月中止)</p> <table border="1" data-bbox="662 996 1353 1980"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>日</th> <th>研修内容</th> <th>参加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4</td> <td>15</td> <td>「利用者の権利擁護～障がい者支援施設の虐待を考える」(書面による研修)</td> <td>57</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>29</td> <td>「防災訓練について」 「権利擁護セミナー」研修報告 「利用者の権利擁護～意思決定支援計画の導入に向けて」</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>31</td> <td>「これっていいの?～支援の声掛けについて」(グループワーク) 「リスクマネジメントについて」 身体拘束状況報告・検討</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>28</td> <td>第3支援係主管による研修 「視覚障がい者の方に対する支援について」 第1支援係主管による研修 「相談支援専門員とは」 身体拘束、虐待について</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>14</td> <td>「異物等がのどに詰まった場合の応急処置」 「相談を受けたときの対応の方法について」</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>25</td> <td>感染症対策について 釧路市障がい者自立支援協議会 生活支援部会 オンデマンド研修 (講演)</td> <td>16</td> </tr> </tbody> </table>	月	日	研修内容	参加	4	15	「利用者の権利擁護～障がい者支援施設の虐待を考える」(書面による研修)	57	6	29	「防災訓練について」 「権利擁護セミナー」研修報告 「利用者の権利擁護～意思決定支援計画の導入に向けて」	18	8	31	「これっていいの?～支援の声掛けについて」(グループワーク) 「リスクマネジメントについて」 身体拘束状況報告・検討	18	9	28	第3支援係主管による研修 「視覚障がい者の方に対する支援について」 第1支援係主管による研修 「相談支援専門員とは」 身体拘束、虐待について	15	10	14	「異物等がのどに詰まった場合の応急処置」 「相談を受けたときの対応の方法について」	22	11	25	感染症対策について 釧路市障がい者自立支援協議会 生活支援部会 オンデマンド研修 (講演)	16
月	日	研修内容	参加																										
4	15	「利用者の権利擁護～障がい者支援施設の虐待を考える」(書面による研修)	57																										
6	29	「防災訓練について」 「権利擁護セミナー」研修報告 「利用者の権利擁護～意思決定支援計画の導入に向けて」	18																										
8	31	「これっていいの?～支援の声掛けについて」(グループワーク) 「リスクマネジメントについて」 身体拘束状況報告・検討	18																										
9	28	第3支援係主管による研修 「視覚障がい者の方に対する支援について」 第1支援係主管による研修 「相談支援専門員とは」 身体拘束、虐待について	15																										
10	14	「異物等がのどに詰まった場合の応急処置」 「相談を受けたときの対応の方法について」	22																										
11	25	感染症対策について 釧路市障がい者自立支援協議会 生活支援部会 オンデマンド研修 (講演)	16																										

		「障害のある人の理解と支援のポイント～ 「豊かな支援」につなげるための方策を考 える」	
12	14	「権利擁護と意思決定支援の考え方～障 がい者サービスを中心に」(講話①) 「意思決定支援のジレンマ」(グルー プワーク) 「高齢・障がい分野における個別支 援の取組みから」(事例発表)	18
1	13	「眠りスキヤンの使用方法と対応」 「権利擁護と意思決定支援の考え方～障 がい者サービスを中心に」(講話②) 「意思決定支援のジレンマ」(グルー プワーク) 「高齢・障がい分野における個別支 援の取組みから」(事例発表)	13
2	17	虐待防止委員会による研修「不適切な対応の 事案について」(グループワーク)	17
3	10	虐待防止委員会による研修「個人ワークの結 果」 身体拘束委員会による研修「パニックや他害 行為がある時の身体拘束について」	18

(3) 施設外の研修

実施回数 31回 参加人員 延 48名

[主な研修内容]

月	日	研 修 名	参加
5	18	「新型コロナ対応と BCP の策定～絶対の押 さえておくべき法的ポイント徹底解説講 座」(オンライン)	1
6	25	全道施設長セミナー(オンライン)	1
8	11	「第 2 回虐待防止のためのアンガーマネジ メント研修」(オンライン)	2
8	18	相談支援従事者研修(初任者研修) (オン ライン)	1
8	25	北海道知的障がい関係支援員研修会(オン ライン)	1

	9	10	相談支援部会オンラインミニセミナー(オンライン)	1
	9	14	令和3年度 法人研修 新任職員研修会 「釧路愛育協会の軌跡・法人職員としての心がまえ」	3
	10	19	法人研修 幹部職員研修(オンライン)	4
	10	19	エルダー・メンター制度導入研修	1
	10	20	介護職員専門研修	1
	10	27	令和3年度幹部職員研修会・全道知的障がい関係職員研究大会(オンライン)	3
	11	1	社会福祉施設における感染防止対策研修会(オンライン)	2
	11	2	安全運転管理者講習	1
	11	5	北海道強度行動障がい支援者養成研修(オンライン)	1
	11	9	法人研修 専門研修(オンライン)	3
	11	20	強度行動障がい支援者養成研修(オンライン)	1
	11	22	第4回釧路市障害者自立支援協議会相談支援部会	1
	11	28	第9回障害者支援施設部会 全国大会北海道大会(オンライン)	3
	12	2	道東知的障がい福祉協会職員研修会(オンライン)	3
	12	5	「地域で障がい者を支えるための理解を深める研修会」釧路市開催(オンライン)	1
	12	7	法人研修 職員研修「権利擁護を考える・権利擁護と意思決定支援の考え方・高齢、障がい福祉分野における個別支援の取組みから」	3
	12	9	新任介護職員研修	1
	12	11	強度行動障がい支援者養成研修(オンライン)	1
	12	14	障害者虐待防止・権利擁護指導者養成講座	1
1		20	北海道サービス管理責任者更新研修(オンライン)	1

	1	27	北海道サービス管理責任者更新研修(オンライン)	1
	2	4	強度行動障がい支援者養成研修(オンライン)	1
	2	10	北海道サービス管理責任者更新研修(オンライン)	1
	2	12	強度行動障がい支援者養成研修(オンライン)	1
	2	21	第5回釧路市障害者自立支援協議会 相談支援部会	1
	3	18	特定給食施設等栄養管理研修会	1
8) 地域生活支援拠点としての役割を担うため、短期入所事業や相談事業体制の充実など、地域のニーズ等に応えるとともに、地域貢献活動の促進を進める	<p>(1) 行政を含む関係機関や障がい者施設関係団体との協働や交流を積極的に進めた。</p> <p>①釧路市地域生活支援拠点事業 短期入所利用登録者 1名)</p> <p>②道東知的障がい福祉協会事務局を担当</p> <p>(2) 福祉施設実習生の受入 釧路市内の短大・専門学校生 2名受入</p> <p>(3) 地域貢献活動等</p> <p>①釧路空港ウェルカムフラワー事業(植栽1樽)</p> <p>②利用者さんの余暇活動(散歩)時に周辺地域のごみ拾いなどを行った。</p> <p>③災害時の地域福祉避難場所として非常用物品や備蓄を整備した。</p>			
9) 利用者懇談会ならびに家族懇談会を定期的に行い、利用者さん・ご家族との情報共有を図るとともに、学園に対して意見や要望を聞き取る場としていく	<p>(1) 利用者懇談会(園内一斉放送により実施) 12回</p> <p>(2) 家族懇談会 0回</p> <p>①新型コロナウイルス感染症対策により実施を控えた。</p> <p>②家族会代表とは定期的に情報共有を行い、意見要望などの聞き取りを行った。</p> <p>(3) 学園だよりの発行 6回</p> <p>(4) 利用者さんの写真を添付した近況報告通信をご家族へ送付 6回</p>			

10) 各種検査等の実施および職員の衛生管理の向上	<p>(1) 井戸水水質検査； 9項目（毎月）、25項目（年4回）、50項目（年1回）</p> <p>(2) 釧路市水道管理検査：令和3年10月28日実施</p> <p>(3) 水道管理者の変更</p> <p>(4) 腸管系法定伝染病検査： 栄養士、調理員、菓子製造利用者さん・職員12回（O-157・ノロウイルス高感度検査実施） 水道技術管理者など（年2回）</p> <p>(5) 職員健康診断2回（夜勤職員）1回（その他の職員）コロナ禍により時期を調整して実施。</p> <p>(6) インフルエンザ予防接種</p> <p>(7) 新型コロナウイルス感染症PCR検査(職員)実施2回</p> <p>(8) 衛生管理委員会は設置したが、衛生管理者を選任できず、今後も資格取得を進め選任する。</p> <p>(9) メンタルヘルケア・ストレスチェック実施1回</p>
11) 短期入所事業の実施	<p>(1) 短期入所事業利用実績：実人員4名 延213日</p> <p>①新型コロナウイルス感染症の状況により新規および通所以外の事業の実施が進められなかった。</p> <p>②緊急性を要する利用者さんの対応として短期入所利用：1件</p>

2. 行事計画の実施状況

月	実施状況および参加人数	月	実施状況および参加人数
4	1) 居酒屋さくら 7日8日9日 30名 2) 利用者懇談会 13日 全員 3) 誕生会 20日 全員	10	1) 秋の大掃除 5日 95名 2) 開設50周年記念式典 10日 全員 3) 第50回学園祭 10日 全員 4) 誕生会 19日 全員
5	1) お楽しみ食 6日 全員 2) 春の大掃除 10・18・19・24日 91名 3) 誕生会 11日 全員 4) 利用者懇談会 11日 全員	11	1) 開園記念日 1日 全員 2) インフルエンザ予防接種 4日 全員 3) お楽しみ食 9日 全員 4) 利用者懇談会 9日 全員

			5)防災の日	10日	全員		
			6)誕生会	16日	全員		
			7)健康診断	17日	全員		
6	1)利用者懇談会	8日	全員	12	1)誕生会7日	全員	
	2)誕生会	15日	全員		2)利用者懇談会	9日	全員
					3)クリスマス会	23日	93名
					4)冬期休暇	24日～1月3日	29名
7	1)夏の焼肉パーティー	2日	92名	1	1)利用者懇談会	11日	全員
	2)利用者懇談会	13日	全員		2)誕生会	18日	全員
	3)誕生会	13日	全員				
	4)防災の日	14日	全員				
	5)スポーツレクリエーション	30日	93名				
8	1)夏のラーメンフェスタ	5日	94名	2	1)道東知的障がい福祉協会みどり会	1日	4名
	2)利用者懇談会	12日	全員		2)節分	3日	全員
	3)誕生会	17日	全員		3)利用者懇談会	8日	全員
	4)花火大会	31日	94名		4)誕生会	15日	全員
9	1)防災の日	1日	全員	3	1)健康診断	3日	全員
	2)お楽しみ食	7日	全員		2)誕生会	17日	全員
	3)利用者懇談会	14日	全員		3)お楽しみ食	23日	全員
	4)誕生会	14日	全員		4)利用者懇談会	30日	全員
※ その他の行事等～・避難訓練（毎月）・建物設備安全管理点検（毎月）							

3. 環境整備事業の実施

1) 道補助事業

事業名：	障がい者用介護ロボット等導入支援事業		
内容：	ひだまり棟における眠りスキャン導入(8台)スカイリフト(1台)		
財源：	事業活動による収入(道補助金)	1,332,000円	
	(自己資金)	600,600円	
	合計	1,932,600円	

2) 鶴が丘学園中庭テラス舗装工事

事業名：	鶴が丘学園どんぐり工房テラス舗装工事			
工事：	開始日	令和3年5月25日	完了日	令和3年6月10日
内容：	どんぐり工房から直接中庭に出られるテラスの設置			
経費：	事業活動による収入(自己資金)	1,507,000円		
	合計	1,507,000円		

2	0	0	6
3	0	0	6
合 計	0	0	

す み れ ホ ー ム

新型コロナウイルス感染拡大防止においては「新しい生活様式」を取り入れながら、適切な感染症予防とワクチン接種、外出時のマスク着用の徹底により安心して安全な暮らしが守れるよう対応してきた。その中でも利用者さんの楽しみでもある買い物や旅行に行けないこと、居宅できないことへのストレスは日を追うごとに募っていったが、個別対応による面談や支援員が代わりに買物するなど丁寧な支援を心がけることで、毎日の生活に影響なく過ごすことができていた。

生活面では利用者さんの高齢化にともない、個々に就労先と連携を図りながら日中の就労支援や生活介護サービスの利用日数を調整することで無理することなく快適で楽しみのある生活を送れるよう支援した。

健康面では早期に地域の医療機関の診察と治療を進めたことで本人への負担を軽減することができた。医師からの食事制限などのアドバイスはなかなか進まない状況だが、摂取量を少しずつ減らすなど、負担が少なくできる方法を模索しながら支援を継続している。コロナ禍でも参加できるような体制を取りながら町内会行事や利用者さんの希望する外出やレクリエーションなどを個別支援計画に取り入れて、利用者さんが満足できるように支援している。

今年度も年度末に釧路市歳末助け合い共同募金会より配分金を受け、慰労会として鶴が丘学園の『居酒屋さくら』を利用し居酒屋気分を満喫することができた。

職員の定着と育成には課題があり、学園の園内研修だけではなく外部の研修にも参加できるようにオンライン研修の環境を整え支援施設と協力して研修の充実を図る。災害対策ではBCPにコロナ対策も組み入れ、新型コロナウイルス感染や非常災害にも対応してきた。今後も定期的な避難訓練を実施し安心・安全の確保を継続していく。

1. 業務計画の実施状況

事業計画	実施状況
1) 新型コロナウイルスの感染防止対策として、「新しい生活様式」を取り入れ、利用者さん個々の日常生活や余暇活動のニーズに対応した丁寧かつ適切な支援の実施	(1) 適切な感染症予防とワクチン接種により安心して安全な日常生活を送れるように努めた。 (2) 利用者さん一人ひとりの要望を受け止め、丁寧な対応で満足していただけるよう支援にあたった。

<p>2) 加齢に伴う健康の維持・促進と保健衛生の充実を図る</p>	<p>(1) 体調を崩した時の早期通院、定期通院を行うとともに、健康診断、がん検診、精神科内服者（血液・尿検査：2回/年）などの実施により健康の維持に努めた。</p> <p>(2) インフルエンザ予防接種：年1回</p> <p>(3) コロナワクチン：3回接種</p> <p>(4) 歯科通院も積極的に行い、加齢に伴う歯周病や歯ぐきケアなども個別に行っている。</p> <p>(5) 感染症対策として、外出時のマスク着用、手指消毒やホーム内の消毒など衛生管理面の徹底を図った。</p>																
<p>3) 利用者さんの要望に対応した個別支援計画の作成と実施</p>	<p>(1) 利用者さん、ご家族からの要望に基づいた余暇等を組み込んだ個別支援計画を作成し、一人ひとりのニーズを受け止めながら支援を実施した。</p>																
<p>4) 町内会活動や地域のイベント等へ積極的に参加するとともに、地域貢献活動を行い、地域との交流を深める</p>	<p>(1) 町内会、地域の行事のほとんどが中止となったが、ボランティアに来てくれる地域の方との交流は続けられた。</p>																
<p>5) 職員の資質とサービスの質向上をめざし、各種研修等に参加し、専門知識や支援技術の共有化を図る</p>	<p>(1) 園内研修および外部研修に参加し専門知識を深める。</p> <p>(2) 鶴が丘学園内研修 実施回数 4回 参加人員 延18名</p> <table border="1" data-bbox="711 1361 1378 1977"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>日</th> <th>研修内容</th> <th>参加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4</td> <td>28</td> <td>「利用者の権利擁護～障がい者支援施設の虐待を考える」(書面による研修)</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>29</td> <td>「防災訓練について」 「権利擁護セミナー」研修報告 「利用者の権利擁護～意思決定支援計画の導入に向けて」</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>28</td> <td>第3支援係担当による研修 「視覚障がい者の方に対する支援について」 第1支援係担当による研修「相談支援専門員とは」 ・身体拘束、虐待について</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	月	日	研修内容	参加	4	28	「利用者の権利擁護～障がい者支援施設の虐待を考える」(書面による研修)	11	6	29	「防災訓練について」 「権利擁護セミナー」研修報告 「利用者の権利擁護～意思決定支援計画の導入に向けて」	1	9	28	第3支援係担当による研修 「視覚障がい者の方に対する支援について」 第1支援係担当による研修「相談支援専門員とは」 ・身体拘束、虐待について	1
月	日	研修内容	参加														
4	28	「利用者の権利擁護～障がい者支援施設の虐待を考える」(書面による研修)	11														
6	29	「防災訓練について」 「権利擁護セミナー」研修報告 「利用者の権利擁護～意思決定支援計画の導入に向けて」	1														
9	28	第3支援係担当による研修 「視覚障がい者の方に対する支援について」 第1支援係担当による研修「相談支援専門員とは」 ・身体拘束、虐待について	1														

	12	22	「権利擁護と意思決定支援の考え方～障がい者サービスを中心に」(講話)	5
	(3) 施設外の研修 実施回数 4回 参加人員 延 4名 〔主な研修内容〕			
	月	日	研 修 名	参加
	10	20	介護職員専門研修	1
	11	9	法人研修 専門研修(オンライン)	1
	12	2	道東知的障がい福祉協会職員研修会(オンライン)	1
	3	17	北海道サービス管理責任者更新研修(オンライン)	1
6) 災害対策及び防災訓練を定期的に行い、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策をBCP(事業継続計画)に取り入れ非常災害に備える	(1) BCPによる防災訓練 火災避難訓練 4回 非常災害訓練 2回 市指定避難施設への移動訓練 1回			

2. 行事計画の実施状況

月	実施状況および参加人数	月	実施状況および参加人数
4	1) 利用者懇談会 14日 21名 2) 町内会大掃除 18日 11名	10	1) 利用者懇談会 21日 21名
5	1) 利用者懇談会 12日 21名	11	1) 利用者懇談会 9日 22名
6	1) 利用者懇談会 9日 21名 2) 町内会大掃除 13日 10名	12	1) 利用者懇談会 14日 22名
7	1) 利用者懇談会 7日 21名	1	1) 利用者懇談会 11日 22名
8	1) 利用者懇談会 11日 21名	2	1) 利用者懇談会 8日 22名
9	1) 利用者懇談会 14日 21名	3	1) 利用者懇談会 8日 22名 2) 慰労会『居酒屋さくら』 25日 22名
*その他の行事～誕生会(利用者さんの誕生日)・避難訓練・体重測定 *利用者さんの希望するレクリエーション(外出など)			

3. 新型コロナウイルス感染防止補助事業

1) 鉏路市共同募金委員会

事業名：	令和3年度市民歳末助け合い募金助成金		
内 容：	利用者さん慰労会		
財 源：	事業活動による収入（市補助金）	66,000 円	
	（自己資金）	6,600 円	
	合 計	72,600 円	

4. その他

・寄 贈：	6 件	評価額：	27,500 円
・物品名：	お菓子、ジュース、野菜、果物 など		

令和3年度 入退居の状況

(名)

入居の状況

定員 22

月	入居数	退居数	当月末人数
4	0	0	21
5	0	0	21
6	0	0	21
7	0	0	21
8	0	0	21
9	0	0	21
10	0	0	21
11	1	0	22
12	0	0	22
1	0	0	22
2	0	0	22
3	0	0	22
合 計	1	0	

障がい相談支援室 鶴が丘

相談支援においては計画相談（障がい者・障がい児）を継続して行い、年間を通して新規に障がい児3件の相談支援を実施し、他のケース同様に家庭支援など幅広く総合的かつ公正な福祉サービスを提供することができた。また、新型コロナウイルス感染対策のため、訪問が困難な時は電話対応により相談事業を進めてきた。また、「本人中心(意思決定)支援

計画」を実現するために、事業所や関係機関と連携を図り、利用者さん本人の思いを丁寧に聞き取り、思い描いた生活を実現できるように総合的なサービスの提供を実践することができた。

職員の資質向上と専門的な総合力を身につけるため、オンライン研修を中心として研修会に参加した。今後も地域共生社会に向けてより総合的な相談支援を実施できるようにしていくため、相談に係る人材育成を図りながら釧路愛育協会総合相談室との連携を進めていく。

1. 行事計画の実施状況

事業計画	実施状況
1) 福祉サービス利用者の計画相談支援	(1) サービス利用支援 14回 (2) 継続サービス利用支援 23回 (3) 障がい児支援利用援助 1回 (4) 継続障がい児支援利用援助 4回
2) 障がい児相談サービス支援	(1) 進学に向けての本人の様子と家族の意向調査等を行い釧路市こども支援課、保育所、養護学校、放課後等デイサービスと連携し相談支援を行った。
3) サービスの質の向上を目的とした、積極的な研修会への参加	(1) 外部研修 2回 参加人数4名 (2) 相談支援部会 1回 参加人数2名 (3) 基幹相談支援センターと協働で相談支援を実施し、支援員のスキル向上を図ることができた。

かしわ認定こども園事業報告

令和3年度においても新型コロナウイルス感染症流行の収束見通しが立たないなか、子どもの健全な発達を保障するためには密集密接は避けられず、子どもたちが安心して触れあえるよう、情報収集、保護者の理解・協力のもと、感染予防対策に努めながらの運営となった。

1月～3月にかけて園児12名、職員2名が新型コロナウイルスに感染したが、職員間の連携のもと、道の指針に沿って事前の健康の記録や各クラスの行動の記録など直ちにリストアップできるよう準備を整え、一斉メール、玄関掲示、電話対応で保護者の協力を得ながら迅速に対応し休園やクラス閉鎖の措置はとらずに集団感染、拡大防止に努めた。

子どもたちの経験値を減少させない工夫を模索しながら、健康管理チェックをはじめ、換気や消毒の徹底、以上児クラスは必要に応じマスクの着用、環境配置の工夫をし、密になりやすい行事は都度会議で内容を見直し検討を重ね、以上児(3・4・5)クラスの運

動会、お遊戯会、卒園式など特に大きな行事は、クラスごと入れ替え、保護者の参加人数の制限、座席配置などを考慮することで密を避け、1、2才児クラスは園庭でミニ運動会を実施し保護者に観覧していただくことができた。豊かな経験をとおして発達、成長をしていく軸を大事にしながら進め、情緒の安定と体力・健康の増進を深め主体性を尊重する教育および保育を行った。

食を営む力を育むため、子どもたちが意欲をもって食生活に取り組めるよう各年齢に応じた食育指導を栄養士、保育教諭と連携して行い、体験をとおして食に関わる循環、環境、感謝の気持ちが育つよう努めた。また、発達に応じた離乳食、食物アレルギー対応など、家庭と連携しながら個別に応じた献立の充実を図った。

コロナ禍により集合での研修参加は減り、オンラインでの研修参加と園内研修を継続して行い職員の専門性を高め質の向上を目指した。

安全管理点検を継続して行い園舎内外の環境整備に努めているが、老朽化に伴う修繕箇所は絶えず、0才児、2才児室の畳と床張り替え、1才児バルコニーパイオクッション張替えを行い子どもたちが伸び伸びと安全に活動できるよう環境整備を行った。

今年度も定員を上回る入所数となったが、少子化に伴う将来の運営状況も視野に入れ、地域における子育て支援や保育のニーズの多様化に対応していけるよう、職員体制の維持、人材確保が課題としてあげられる。また、地域と密着した子育て支援を積極的に行い地域になくしてはならない、地域とともに歩む認定こども園を目指していきたい。

1. 業務計画の実施状況

事業計画	実施状況
1) 情緒の安定と体力・健康の増進を深め主体性を尊重する教育・保育	<p>(1) 裸足保育の実施、バルコニーを利用して乳児の外気浴、園庭や近隣への散歩など戸外活動、音楽リズム、運動を積極的に行い、体幹など身体的な発達を日々の教育・保育の中で多く取り入れることができた。</p> <p>(2) 日々の遊び、各行事などの体験を通して自然に文字や数に触れ、気づき、興味関心が持てるよう環境の工夫を継続して行った。</p> <p>(3) 嘱託医による内科検診を年2回、歯科検診を年1回行い、子どもたちの健康促進、保護者への結果報告など連携を密に行うことができた。</p> <p>(4) 薬剤師による空調、水質検査を定期的実施、園舎内や玩具などの消毒を随時行い、感染症の流行を防ぐとともに、玄関掲示、おたよりなどで保護者への情報提供を行った。</p>

<p>2) 食育及び離乳食、食物アレルギー対応などの安全と充実</p>	<p>(1) 食を営む力を育むため、栄養士、保育教諭が連携し、食育指導を毎月実施し、身近な食材に触れたり、いもうえや各クラスでプランターに野菜を栽培、クッキングを実施し興味、関心が持てるよう食の充実を図った。</p> <p>(2) 献立表、給食だよりを毎月発行、また継続して保護者給食アンケートの実施、園での取り組みを家庭と共有することができた。</p> <p>(3) 毎月調理員会議、離乳食、アレルギー対応会議を実施。離乳食、アレルギー対応食を提供するにあたり、家庭との面談を重ね個別に応じた対応食と安全確保、献立の充実を図ることができた。</p> <p>(4) 給食従事者と乳児担当保育教諭の検便検査を毎月行い感染予防、衛生面の徹底に努めた。</p>
<p>3) 子育て家庭支援や地域社会と連携し、地域に開かれた子育て支援を実施</p>	<p>(1) 個別の連絡帳、クラスごとのお知らせボード、おたよりなどで情報交換をしながら子どもの成長、発達を共有し、家庭との連携を図った。</p> <p>(2) 保護者アンケートを実施して結果をおたよりで伝え、協力と理解を得ながら教育・保育の質向上に努めた。</p> <p>(3) 感染予防の啓蒙、感染状況の情報提供、家庭と情報交換しながら健康管理に努め、また安心して過ごせるよう安全管理点検を行い環境整備にも努めた。</p> <p>(4) 地域のニーズを充足するため、園開放や乳児、障がい児保育など関係機関と連携し各ニーズ対応、また、個別面談を実施し子育て家庭支援に努めた。</p>

4) 職員の専門性を高め 資質向上をめざし園内 研修の促進を図る	<p>(1) 教育および保育の質を高めるために園と職員の自己評価を実施。年間の職員研修計画に基づき研修の充実を図った。</p> <p>[主な研修内容]</p> <p>①研修会 参加人数</p> <p>(A) 園長研修 7名</p> <p>(B) 栄養士研修 4名</p> <p>(C) 釧路市保育協議会主任研修 1名</p> <p>(D) 釧路市保育協議会保育者研修 3名</p> <p>(E) 釧路市教育委員会研修 2名</p> <p>(F) 私立保育園連合会主催研修 1名</p> <p>(G) 日保協キャリアアップ研修 1名</p> <p>②法人研修 参加人数</p> <p>(A) 新任職員研修 2名</p> <p>(B) 専門研修 2名</p> <p>(C) 職員研修 1名</p> <p>③施設内研修 参加人数</p> <p>(A) 救命救急研修 24名</p> <p>(B) 障がい児保育研修 28名</p>
--	--

2. 行事計画の実施状況

月	実施状況および参加人数
4	1) 入園・進級式 1日 17名 2) 裸足保育開始 1日
5	1) 保護者参加日 中止 2) 足型とり・掲示 10日～22日 全クラス 3) いも、野菜の種まき 21日 66名 4) 春の健康診断 10・13・20日 全園児
6	1) 交通安全教室 21日 59名
7	1) 親子お楽しみ会 中止 2) 歯科検診 2日 全園児
8	1) 港まつりヨサコイ参加 中止
9	1) 収穫祭 3日 86名 2) 第3回運動会 19日 3・4・5才児 56名
10	1) ミニ運動会 1日 1・2才児 27名 2) 第3回運動会 2日 3・4・5才児 51名 3) 秋の健康診断 5・14・21日 全園児 4) バス遠足 8日 3・4・5才児 49名 5) 消防合同避難訓練 14日 75名 6) 交通安全教室 20日 74名 7) 裸足保育終了 31日
11	1) 長生園との交流会 中止 2) 第3回お遊戯会 1・2才児 27日 32名
12	1) 第3回お遊戯会 4日 3・4・5才児 51名

	2) スケート体験 16・17日 5才児 35名 21日 4才児 18名 3) クリスマス会 24日 93名
1	1) 新年おもちゃつきお楽しみ会13日 80名 2) 足型とり・掲示11~22日 全クラス
2	1) 節分 3日 62名 2) 小学校体験入学 中止 3) 保護者参加日 中止
3	1) ひなまつり 3日 85名 2) 卒園式 17日 18名 3) お別れ会 22日 64名 4) お店屋さんごっこ 25日 84名

3. 環境設備事業の実施

1) 消防用設備修繕工事

事業名：	消防用設備修繕工事		
工 事：	開始日 令和3年7月1日		
内 容：	落雷による防犯設備故障のため修繕工事		
経 費：	事業活動による収入（財産損害保険金）		866,800 円
	総経費		866,800 円

2) バルコニーバイオクッション張替え工事

事業名：	1才児バルコニーバイオクッション張替え工事		
工 事：	開始日 令和4年3月1日		
内 容：	経年劣化によりバイオクッションを全面張替え工事		
経 費：	事業活動による収入（自己資金）		589,270 円
	総経費		589,270 円

3) 保育室畳張替え工事

事業名：	2階保育室床材張替え工事		
工 事：	開始日 令和4年3月19日～3月21日		
内 容：	経年劣化による床、畳の張替え工事		
経 費：	事業活動による収入（自己資金）		1,210,000 円
	総経費		1,210,000 円

4. 新型コロナウイルス感染防止補助事業

1) 釧路市補助事業

(1) 事業名：	釧路市児童福祉施設等衛生環境整備費補助金（延長保育事業）		
内 容：	新型コロナウイルス感染防止備品、衛生用品などの整備		
経 費：	事業活動による収入（釧路市補助金）	250,000 円	
	（自己資金）	106,946 円	
	総経費	356,946 円	
(2) 事業名：	釧路市児童福祉施設等衛生環境整備費補助金（一時預かり事業幼稚園型）		
内 容：	新型コロナウイルス感染防止備品、サーマルカメラ 2 台、フードペダル式消毒用スタンド 2 台設置		
経 費：	事業活動による収入（釧路市補助金）	300,000 円	
	（自己資金）	11,180 円	
	総経費	311,180 円	

令和3年度 入 退 園 状 況

(名)

定員 90

(1号認定 9)

(2・3号認定 81)

月	入園数	退園数（内卒園児）	当月末人数 （内1号認定）
4	11	22(15)	88 (3)
5	1	0	89 (3)
6	2	2	89 (3)
7	0	0	89 (4)
8	4	0	93 (5)
9	0	0	93 (6)
10	1	0	94 (8)
11	2	1	95 (8)
12	0	0	95 (8)
1	0	0	95 (9)
2	0	0	95 (9)
3	1	1	95 (9)
合計	22	26	

あいこう認定こども園

令和3年度も新型コロナウイルス感染症拡大予防を行いながら、教育および保育の基本である子どもの健全な心身の発達を図りつつ、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものとして園児とともによりよい教育および保育の環境を創造するよう努めてきた。

8月、2月、3月と園児や職員が新型コロナウイルスに感染、3月末までに園児8名、職員3名が感染したが、その都度、行政や法人と連携しながら感染拡大防止に努め、保護者にも理解と協力をお願いしながら、休園などの措置はとらずに保育を続けることができた。感染対策については密集密接を避け、行事は各クラスで行うなど工夫して実施してきたが、特に乳幼児期において職員との関りをつうじて情緒的な絆が形成される時期でもあるため、対応に苦慮している。才以上児については、感染拡大の2月頃より厚労省や道の方針もありマスクの着用をお願いしているが、常に園児の顔色や呼吸に気を付けるなど体調など把握するよう努めている。今後も感染対策は続くと思われるため、子どもたちの安全を守るために環境を整え対応していきたい。

子育てや家庭支援の連携では、支援が必要な園児や保護者に対して園児と保護者相互の信頼関係を基本としながら関係機関とも連携し、保護者が子どもの成長に気付き子育ての喜びを感じられるよう、また子どもの最善の利益に繋げる努力を続けていく。

昨年度末に中部子育て支援拠点センターサテライトよちよちひろば新橋が閉鎖したが、よちよちひろばに勤務していた職員が子育て支援の一環として週1回園で行っている園開放事業の担当にあたり、コロナ禍で制限がある中でも146組313人の利用があった。釧路市からは今後事業の再開はないとの通知があったが、よちよちひろばの時から利用者さんの他にも新規のかたがたも多いことから、支援の重要性・必要性をさらに強く感じ、今後もさらなる充実を図っていきたい。

職員の専門的質の向上を目指し、園内外の研修に積極的に参加するでは、園内外ともにオンライン研修を取り入れ積極的に受けるなど、職員全体の資質向上に努めてきた。

食育の充実では、重度のアレルギー児に対する取り組みを継続して給食会議などで見直し、食の安全確保に配慮した。また、栄養士と保育教諭が教育および保育と連携した食育指導を行うことで季節の行事食や野菜の栽培などにより子どもたちの食への関心が深まるよう努めてきた。

老朽に伴う園舎建て替えでは改築計画基本構想第3版を策定し、建設用地が決定したことで基本設計に向けて進んでいるところである。今後も準備委員会を中心に法人と連携を図りながらより具体的に進め、新園舎になることでさらに地域との交流促進が行えるよう地域に根付いた園づくりを目指していく。

1. 業務計画の実施状況

事業計画	実施状況
<p>1) 保護者と子育てや家庭支援の連携を図り、子どもたちの人格形成を培うため教育および保育の充実を図る</p>	<p>(1) 園児の体力と健康を図るため、乳児（延べ人数 104 名）の外気浴を多く取り入れた。また、保育教諭と一緒に音楽リズムやわらべうた、体操や造形などを行う事で身体の発達や情緒の安定など高めていけるよう努めた。</p> <p>(2) 延長保育事業利用は年間通して 2,410 名あり、各家庭のニーズに対応しながら子どもたちの気持ちに寄り添った教育および保育を心掛けてきた。</p> <p>(3) 連絡帳やお便りの他にも参観日や個別懇談などで園と家庭の情報を共有し、保護者や園に寄り添った教育および保育ができるよう連携を深めていった。</p> <p>(4) 保護者アンケートを年 1 回実施、結果をおたよりと参観日で伝えさまざまな意見をもらい共有することで次につなげていくことができた。</p> <p>(5) 数量や図形に関心が持てるような遊びを工夫し、また人と人とが繋がりあうために文字が存在していることを自然に感じ取れるような環境の工夫を継続して行ってきた。知育の発達を促すため、5 歳児には個別の教材を使用し文字・数字の獲得に努めた。</p> <p>(6) 嘱託医による内科検診を年 2 回、歯科検診は年 1 回行い、各種予防接種の啓蒙を積極的に行う事で子どもたちの健康を促進することができた。</p> <p>(7) 園での解決が困難な家庭のケースに関しては道や市の関係機関と連携し、支援が必要な園児に対しては個別の訪問支援事業を活用していった。</p>

	(8) 園内研修で感染症や救命救急について確認を行い、安全対策に努めた。																				
2) 食育を通して望ましい食習慣やアレルギー対応食の安全と充実を図る	<p>(1) アレルギー児専用の食器を揃え、献立・調理方法・配膳の仕方について会議などで見直しを行い、食の安全に努めた。</p> <p>(2) 子どもたちが意欲を持って給食に取り組めるよう季節の食材を取り入れ、アレルギー児の代替食、野菜の栽培等に取り組んできた。また、月1回栄養士と保育教諭による食育指導を行い、『食を営む力』の基礎を伝えた。</p> <p>(3) 毎月1回給食便りと給食献立表を配布、また年に1度食育アンケートを実施し意見を取り入れ、保護者の意向を組み取り反映することで食育の充実を図った。</p>																				
3) 地域の子育て支援の充実を図る	<p>(1) 毎週水曜日に行っている園開放の利用は年間通して146組313人おり、園内外の遊び場を開放したり、園内の見学などを行った。</p> <p>(2) 専任の職員を配置することで、利用する方も安心して子育ての悩みや不安などを相談できるよう配慮した。</p>																				
4) 職員の専門的質の向上を目指し、園内外の研修に積極的に参加する	<p>(1) 教育および保育の質を高めるために園と保育教諭の自己評価を行った。</p> <p>(2) 主な研修内容</p> <table border="0"> <tr> <td>①研修会</td> <td style="text-align: right;">参加人数</td> </tr> <tr> <td>(A) 園長研修(年12回)</td> <td style="text-align: right;">7名</td> </tr> <tr> <td>(B) 栄養士研修(年12回)</td> <td style="text-align: right;">3名</td> </tr> <tr> <td>(C) 道保協キャリアアップ研修</td> <td style="text-align: right;">5名</td> </tr> <tr> <td>(D) 北海道社会福祉協議会</td> <td style="text-align: right;">3名</td> </tr> <tr> <td>(E) 釧路保育協議会</td> <td style="text-align: right;">2名</td> </tr> <tr> <td>(F) 私立保育園連合会</td> <td style="text-align: right;">19名</td> </tr> <tr> <td>②法人研修</td> <td style="text-align: right;">参加人数</td> </tr> <tr> <td>(A) 新人研修</td> <td style="text-align: right;">1名</td> </tr> <tr> <td>(B) 幹部研修</td> <td style="text-align: right;">1名</td> </tr> </table>	①研修会	参加人数	(A) 園長研修(年12回)	7名	(B) 栄養士研修(年12回)	3名	(C) 道保協キャリアアップ研修	5名	(D) 北海道社会福祉協議会	3名	(E) 釧路保育協議会	2名	(F) 私立保育園連合会	19名	②法人研修	参加人数	(A) 新人研修	1名	(B) 幹部研修	1名
①研修会	参加人数																				
(A) 園長研修(年12回)	7名																				
(B) 栄養士研修(年12回)	3名																				
(C) 道保協キャリアアップ研修	5名																				
(D) 北海道社会福祉協議会	3名																				
(E) 釧路保育協議会	2名																				
(F) 私立保育園連合会	19名																				
②法人研修	参加人数																				
(A) 新人研修	1名																				
(B) 幹部研修	1名																				

	(C) 専門研修 2名 (D) 職員研修 2名 ③施設内研修 参加人数 (A) 新型コロナ感染症について 21名 (B) 危機管理マニュアルについて 21名 (C) 救命救急・感染症予防について 19名
5) 園舎建て替えに向けての具体的な策定を進める	(1) 建設用地について確定、基本設計業者の選定を行った。

2. 行事計画の実施状況

月	実施状況および参加人数					
4	1)入園・進級式	1日	97名			
5	1)内科検診	11日	14日	28日		102名
6	1)清掃デー	3日	62名	2)交通安全教室	22日	64名
	3)子どもバス遠足	25日	66名			
7	1)清掃デー	5日	60名	2)歯科検診	8日	96名
8	1)津波想定避難訓練	中止				
9	1)清掃デー	2日	59名			
10	1)運動会	3日	84名	2)清掃デー	5日	57名
	3)歩き遠足	8日	63名	4)交通安全教室	19日	61名
	5)消防合同避難訓練	14日	96名			
	6)内科検診	8日	19日	26日		108名
11	1)お遊戯会	20日	84名	2)避難訓練不審者	28日	65名
12	1)清掃デー	3日	54名	2)クリスマス会	24日	110名
1	1)保育参観・個人面談会			2)新年おもちつき	14日	113名
	4才児	12日	21名	お楽しみ会		
	3才児	19日	24名			
	2才児	中止				
2	1)保育参観・個人面談会			2)節分	中止	
	0,1,5才児	中止				
3	1)ひなまつり	3日	100名	2)お別れ会	4日	102名
	3)卒園式	17日	24名	4)お店屋さんごっこ	25日	107名
	5)修了式	31日	93名			

3. 環境設備事業の実施状況

1) 道補助事業

(1) 事業名：	子育て支援対策事業費補助金（幼児教育の質の向上のための緊急環境整備）		
工 事：	開始日 令和3年11月14日	完了日	令和3年11月14日
内 容：	園庭遊具3点設置		
財 源：	事業活動による収入（北海道補助金）		122,000 円
	（自己資金）		510,830 円
	合 計		632,830 円

4. 新型コロナウイルス感染防止補助事業

1) 釧路市補助事業

(1) 事業名：	釧路市児童福祉施設等衛生環境整備費補助金（延長保育事業）		
内 容：	1才児エアコン設置		
財 源：	事業活動による収入（釧路市補助金）		250,000 円
	（自己資金）		176,800 円
	合 計		426,800 円
(2) 事業名：	釧路市児童福祉施設等衛生環境整備費補助金（一時預かり事業幼稚園型）		
内 容：	2才児エアコン設置		
財 源：	事業活動による収入（釧路市補助金）		300,000 円
	（自己資金）		126,800 円
	合 計		426,800 円

令和3年度 入 退 園 状 況 (名)

定員 100

(1号認定 10)

(2・3号認定 90)

月	入園数	退園数（内卒園児）	当月末人数（内1号認定）
4	16	22 (19)	104 (4)
5	3	0	107 (4)
6	1	0	108 (5)
7	2	2	108 (6)
8	5	1	112 (6)
9	1	0	113 (6)
10	1	0	114 (7)
11	0	0	114 (8)

12	0	0	114 (8)
1	0	3	111 (8)
2	2	0	113 (8)
3	2	2	113 (8)
計	33	30	